

第6回学園運営協議会



R6 学園経営案について

2024.2.29



よしださん

学園の子どもに限らず全体的に自尊感情や主体性に課題があるように感じる。今の時代、「自分で考え、判断し、行動する力」を伸ばすことは、教師自身も試行錯誤の体験不足があるため、容易ではない。

「自分で考え自分で行動する」という目標に対する方策が重要である。コミュニティ・スクールでは学校だけでなく、地域はどうか、家庭はどうか、それぞれが主体的に方策を考えることが重要である。また、「教育課題」の内容や「確かな学力」と「思考・判断・表現」の関係も整理する必要がある。



もりさん



いけださん

学園経営案の内容は、修正が必要な部分もあるが、大まかに提案どおりの承認でいいのではないか。

承認の条件として、教育課題の内容を、例えば「思考力等の児童生徒の自己評価は高い」とするなど、見直しを行うべき。



もりさん

子どもの主体性を育てるのは昔に比べて難しくなった。「自分で考え行動する」ビジョンは共有できた。5月はその戦略を決めていく。



よしださん

学校・家庭・地域の近況報告



ふじわらさん

子ども支援グループでは「子どもが自ら考え行動する場づくり」を重視している。

まちづくり宗像でも「節分豆まきイベント」や「卒業生に向けたメッセージボード」等、子どもが楽しめる行事を実施している。



なかがわさん